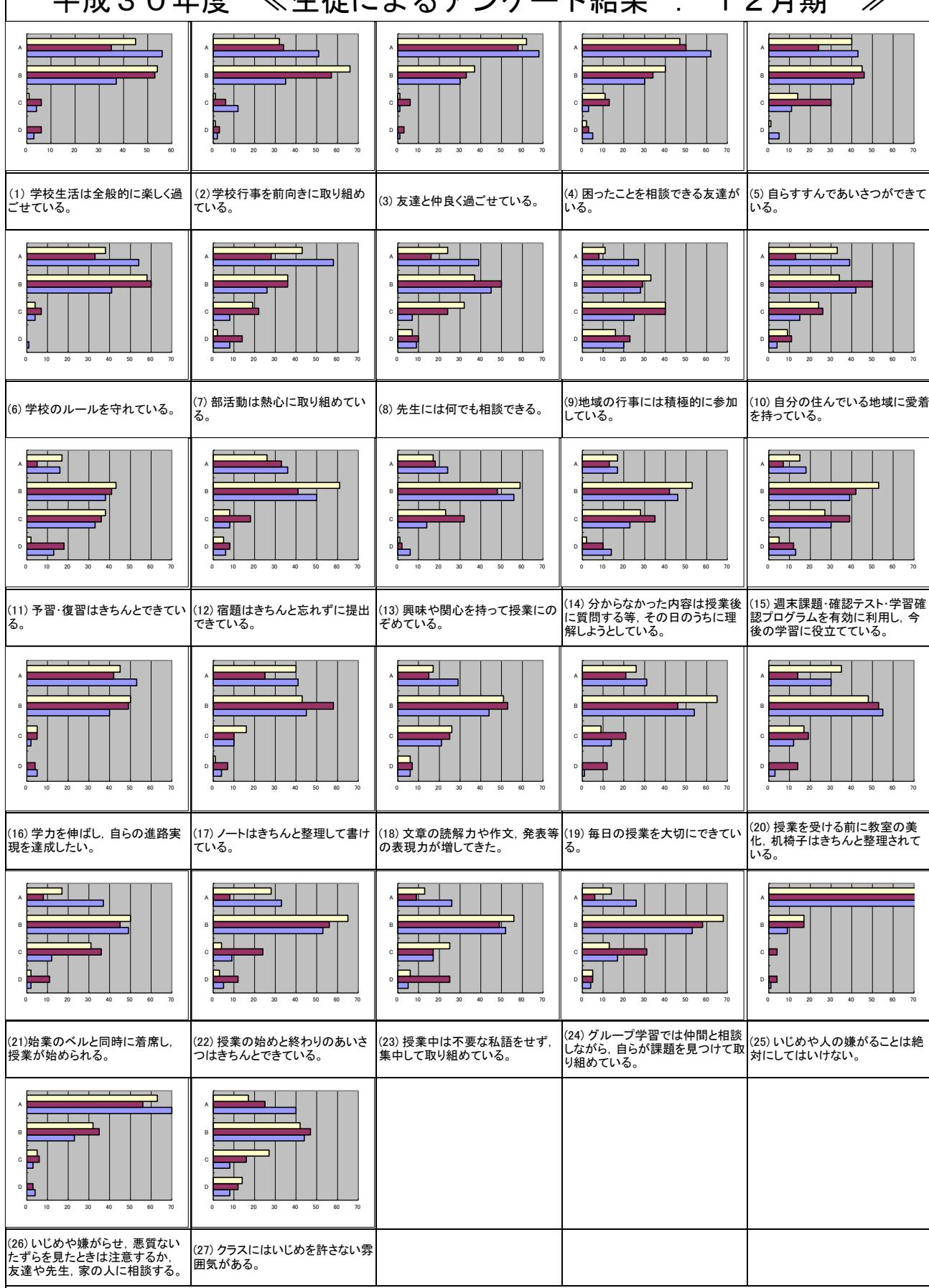


# 平成30年度 《生徒によるアンケート結果 : 12月期》



※ グラフは各項目、上段:1年生、中段:2年生、下段:3年生。

生徒アンケートにおいては今年度から内容をリニューアルして2回目の集計となった。設問(1)～(10)：「生活全般」、(11)～(18)：「学習」、(19)～(24)：「授業中」、(25)～(27)：「いじめ」という大きく4つの項目についてアンケートを実施した。ABが多いほど良い傾向となる。「学校生活」編では7月期同様「全般的に楽しく過ごせている」「行事を前向きに取り組めている」「友達と仲良く過ごせている」「困ったことを相談できる友達がいる」「ルールを守っている」といった設問で概ね高い評価となっている。気になった点は「自らすんであいさつができる」という設問では2年生が若干CDのポイントが増えたこと。また「地域行事への積極的な参加」「地域に愛着を持っている」という設問では相変わらず全体的にCD評価が多くなっている。この淀・淀南地域に住む一員としての誇りをもってもらえるよう働きかけていきたい。「学習」編では「予習・復習」「分からなかった内容の授業後の質問」「確認テストや確認Pの有効利用」については若干CDの割合が多くなっており、特に2年生のCDポイントが高くなっている。学力向上をしていく上では最も大事な部分であるので自学自習の精神を養う必要がある。統いて「授業」編では「毎日の授業を大切にできている」のAB評価は高いが、「始業のベルとともに着席し、授業が始められる」「不要な私語がない」「グループ学習で自ら課題を見つけて取り組む」といった設問ではCD評価がやや多くあること、これも特に2年生が高いことがわかる。今後の課題となった。最後に「いじめ」編であるが、「いじめや人の嫌がることは絶対にしてはいけない」はほとんどの生徒がA評価となった。一人ひとりの人権を大切にすることの意味では全員がAの評価になるようにこれからも取り組みたい。また「いじめや嫌がらせ、悪質ないたずらを見たときは注意するか、友達や先生、家の人に相談する」についても概ねAB評価である。そして「クラスにはいじめを許さない雰囲気がある」の設問では1・2年生でCD評価をした生徒は7月期に比べるとが減り、ABへの率が上がった。この設問については普段の教室